

# 魚沼産コシヒカリ 松之山 新田 はさ架け天日干し 棚田米

信濃川の支流・渋海川を、その源流へ、みなもとへとたどって行きます。大河のみなもとの一滴まであともう少しというところが、このお米が生まれ育った地、松之山です。

棚田だらけのここ松之山に、私たちが通い始めて10年になります。松之山は、全国各地から移り行く棚田の風景を撮影しようと多くの人たちが訪れるところですが、そうした景観の中でもよく知られたひとつが、この「新田」です。

これまでどうにか、田植えや稲刈りといった人手のかかる作業は、私たち「猫の手応援隊」も手伝わせて頂きながら、じいちゃんが米作りをしてきた新田の40枚の棚田。

昨年じいちゃんが腰を痛めてしまい、やがてはここもススキや葦、がまの原に還っていきしかないのか…と、やるせない思いで見つめながら冬が過ぎました。

そして今年、長い間お手伝いをしてきた思い入れと根性と（無謀さ？）で、「猫の手応援隊」で全ての農作業に挑戦してみることに、あいなったのです。

米作りのプロ・棚田仙人、田中富士雄さんの指導を得ながら、低農薬・有機肥料で、手塩にかけて育ててきた本物のコシヒカリです。昔ながらの湿田のため、タニシやサワガニも、ミズカマキリやタガメ、ゲンゴロウも、私たちの稲と一緒に春、夏、秋と、移り行く景色とともにこの棚田で生きてきました。

全ての作業が人の手によるものです。いまだき、こんな作業やりたくたって出来ないかもしれません。「手塩にかける」という言葉の意味を皆が身体で感じながら、ついに稔りの秋、ふっくらとした黄金の粒がたわわに実りました。おてんとうさまの光をたっぷりあびるよう、はざに架け天日干し、丹誠こめたお米です。



6月 田植えだよ 全員集合！！



4月 筋蒔き  
春の日差しが  
雪とがす



5月 代掻き  
巨人の星をめざすのだ！？



7～8月  
田の草取り、畦草刈り  
夏の日中作業は厳禁  
と痛感



働き者のボク



10月 稲刈り  
重いおもい 稲穂はオモイ



どっころしよ  
いゃんやあ 難儀いてえ



10月 はさ架け 稲穂のカベみたい



脱穀中  
はさ架け米  
完成間近



畦の修復  
さいごまで  
ありがとう



かえるくん むしくん どこかな どこかなあ？



トノサマガエル  
かくれんぼ中



タニシ ごろごろ



イナゴ ぴよんぴよん



キイトンボ すいすい



ヒエ抜き  
どろりんこ